



急に秋めいてきました！「ハロウィン」ご存知ですか？日本でも、このシーズンのイベントなどに、すでに市民権を得た感もあります。店頭には「かぼちゃ」をかたどった、お菓子やら、置きものやら？一体何の行事でしょうね？日本ではお盆にあたる「万聖節（Hallowmas, Day）」の前夜祭のこと？アメリカではクリスマスに次ぐ行事らしいです。かぼちゃに顔を彫ったちょうちんに灯を入れ子どもたちは近所の家に仮装して、お菓子をもらって歩く・・・そんな風習らしい？です。まあともかく経済効果があればこの頃は何でもイベント化しますね。でもやはり、日本の秋と言えば、「読書の秋」「味覚の秋」「行楽の秋」などがやっぱり一般的なのかも？です。日本の秋がまたただ中になってくるこの頃でも、クールビズ期間内で、そんでもってウオームビズはいつからなんでしょうね？こりゃほんとに温暖化ってことですかね？

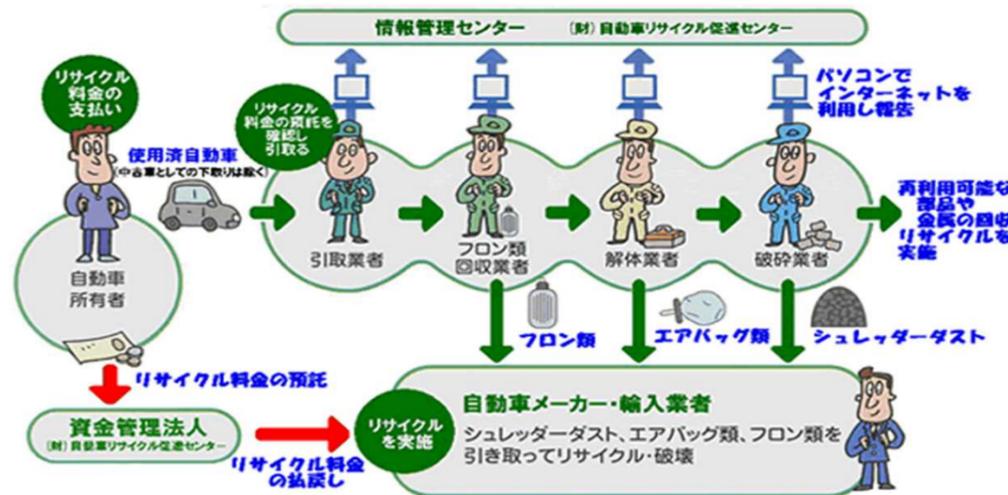
自動車リサイクル法について

■自動車リサイクル法の成り立ち

日本では、1年あたり約360万台もの車が廃車になっています。クルマはもともと鉄やアルミ等の金属が多く使われているためリサイクル率が高く、総重量の80%がリサイクルされ残りの20%はシュレッダーダスト(クルマの解体・破碎時に残るゴミ)として主に埋め立て処分されていました。埋め立て処分スペースが少なくなったこと、不法投棄・不適正処理が心配されるようになり、またカーエアコンの冷媒フロン類がきちんと処理されないとオゾン層破壊、地球温暖化問題を引き起こすことなど、この問題を解決するために、2005年1月から「自動車リサイクル法」がスタートしました。

自動車リサイクル法で適正処理されたクルマのリサイクル率は約95%です。

部品・資源としてリサイクル	自動車リサイクル法の対象物品 お支払いいただいたリサイクル料金で処理		
 エンジン・ボディ等 中古部品として ●エンジン ●トランスミッション等 原材料として ●タイヤ(燃料) ●ボディ(鉄)等	埋立地に余裕なし  シュレッダーダスト(廃車くず)	処理に専門技術が必要  エアバッグ類	地球温暖化等防止  フロン類
	●ウレタン・繊維 →熱エネルギーとしてリサイクル ●ガラス等 →舗装材などにリサイクル	●安全に適正処理 ●金属部分は資源としてリサイクル	●無害化



■リサイクル法の仕組み

シュレッダーダスト及び、エアバッグ類カーエアコンのフロン類を自動車メーカー・輸入業者が引き取ってリサイクル(フロン類については破壊) ソリッド材料は自動車メーカー・輸入業者が原則初車購入時に引き取り、継続検査時に支払う。フロン類は回収業者が回収し、自動車メーカー・輸入業者が引き取ってリサイクル・破壊

ECOメモ・・・知ってましたか「eco検定」

広く環境問題に関する知識を問われる検定です。正式には「環境社会検定試験」といわれ、東京商工会議所が主催しています。2006年の10月が第1回の試験実施で、以降毎年7月と12月に実施されています。受検者は毎年約10,000人程度で増加傾向らしいです。100点満点で、70点以上取れば合格で、合格すると「エコピープル」として認定されるそうです。難易度はそれほど高くないそうです、あなたもチャレンジしてみませんか？

ビジネスのキャリアアップにもなるそうですよ！

- 「解答」・・・(1)リサイクル可能な回数
 (2)リサイクルされた回数
 (3)樹脂の材質
 (4)容器の品質等級

「出題例」・・・(資源有効利用促進法によりリ

サイクル可能な飲料用ペットボトルには右図の識別表示マークが付けられているが、この数字の「1」は、[]を表している。



解答 (3)

環境社会検定試験® (eco検定)

地球環境の改善・保全と持続可能な社会の形成を目指し、環境に対するベースの知識を学ぶ。

環境保護
ISO 14001
リサイクル

